



特色を持った各地区

木更津南部地区 ～物流関連ゾーン～



●木更津南部地区

施設名	施設概要				主な取扱貨物 (R4)
	延長 (m)	所定水深 (m)	エプロン幅 (m)	対象船舶 (D/W)	
木更津埠頭物揚場	362	－ 4.0	10.0	500	砂利・砂
A岸壁	90	－ 5.5	15.0	2,000	砂利・砂
B岸壁	90	－ 5.5	15.0	2,000	砂利・砂
C岸壁	90	－ 5.5	15.0	2,000	砂利・砂
D岸壁	90	－ 5.5	15.0	2,000	砂利・砂
E岸壁	130	－ 7.5	20.0	5,000	砂利・砂
F岸壁	130	－ 7.5	20.0	5,000	コークス
G岸壁	240	－ 12.0	20.0	30,000	完成自動車
H岸壁	260	－ 12.0	20.0	30,000	完成自動車
潮浜埠頭A・B・C・D岸壁	240	－ 4.5	15.0	700	砂利・砂

木更津南部地区は、公共岸壁を中心とした物流拠点として、物流生産・都市機能などが集約されています。

内貿貨物として、県内で産出される砂利・砂を建設用材として関東近県に移出するとともに、他地域からの受入れも行っており、木更津港の主要貨物として地域の経済活動を支えています。

また、外貿貨物に対応するため、平成8年4月には木更津埠頭G岸壁、平成20年3月には木更津埠頭H岸壁を供用開始し、30,000D/W級の船舶が接岸できるよう整備されました。近年では、完成自動車（中古自動車）の輸出が活発であり、ニュージーランドやアフリカなどへの輸出拠点へと成長しつつあります。また、大型クルーズ船の誘致や伊豆大島への高速ジェット船の実証実験など、港を活かした街の活性化の取組も進められています。



砂利・砂の荷役



中古自動車の荷役



木製品の荷役



クルーズ船の入港



富津地区 ～エネルギー関連ゾーン～

富津地区は、(株)JERA富津火力発電所や日本製鉄(株)の研究施設などが稼働し、エネルギー供給基地として重要な役割を果たしています。

公共ふ頭では、主に金属製品や鉄鋼、産業機械などの内貿貨物が取り扱われており、F岸壁では、大規模災害時に円滑な緊急物資などの輸送機能を確保するため、耐震強化岸壁が整備されています。

また、地区内には、「富津みなと公園」が整備され、園内には多目的運動広場や展望広場があります。

●富津地区

施設名	施設概要				主な取扱貨物 (R4)
	延長 (m)	所定水深 (m)	エプロン幅 (m)	対象船舶 (D/W)	
A・B・C・D岸壁	360	－ 5.5	15.0	2,000	金属製品
E岸壁	130	－ 7.5	20.0	5,000	砂利・砂
F岸壁	130	－ 7.5	20.0	5,000	金属製品
物揚場	857	－ 4.0	10.0	500	－



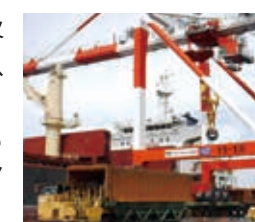
富津みなと公園



君津地区 ～鉄鋼生産ゾーン～

君津地区は、主に日本製鉄(株)東日本製鉄所及びその関連企業の専用岸壁として利用されており、木更津港の取扱貨物量の大半を占めています。

主に、鉄鉱石や石炭がオーストラリアなどから輸入され、鋼材などがメキシコやインドネシアなどへ輸出されています。



日本製鉄(株)東日本製鉄所 君津地区

富津～君津地区の主な取扱品種

